

---

## キャリア教育

### - 児童・生徒・若者を社会に対応できる大人に育成するには -

CAREER EDUCATION: PREPARING NON-WORKING CHILDREN TO BECOME PRODUCTIVE ADULTS

---

ディビッド・ジェップセン (Dr. David A. Jepsen)  
アイオワ大学教授

#### I. はじめに:本講演の目的

- A. キャリア教育推進施策におけるキャリア教育の位置づけに関する理解を深めていただくため、キャリアについての今日的解釈に関する私見を述べ、
- B. キャリア教育の目的・目標をめぐる議論を活性化するため、メタファー（比喩）を用いてキャリア概念を提示する。

#### II. キャリアの今日的解釈

- A. 広義のキャリア概念  
“キャリアとは、ある個人が時の経過とともに体験する、一連の仕事経験の展開・発展である。（Career is the evolving sequence of a person's work experiences over time.）”
- B. この解釈におけるポイント
  - 1. 一個人の仕事経験であること
  - 2. 時の経過とともに体験される一連の経験であること
  - 3. 雇用関係によって生じる職務に限定しない個人の仕事経験であること

#### III. キャリア教育推進施策におけるキャリア教育の位置づけ

- A. キャリア教育にとっての課題としての新たな社会・経済的状況
  - 1. 安定した雇用の減少・弱化
  - 2. キャリア・パスの不鮮明化（不透明な自分自身の将来像）
  - 3. 強まる自己責任性
  - 4. 包括的かつ顧客のニーズ充足を目標とした職務責任

- B. これらの新たな状況は、キャリア教育の新たな位置づけを要請する

キャリア教育とは、児童・生徒・若者たちに対して、勤労者及び学習者としての自らのキャリアを構築するうえで必要な諸能力を身につけさせるものである。（Career education prepares students to construct their own careers as workers and learners.）

## IV. 小説/物語としてのキャリア

- A. (アメリカと日本という)文化の違いを超えて理解を深めていただけるよう、キャリアを「小説/物語(story)」にたとえて提示したい。
- B. キャリアはノンフィクションの「仕事経験小説(work-experience story)」であり、それは他の小説/物語と共通するいくつかの要素によって構成される。
1. キャリアには著者がいる。
  2. キャリアは時の経過とともに進展する。
  3. キャリアはある場所を舞台として展開する。
  4. キャリアには主役のほかに脇役としての人々が登場する。
  5. キャリアには筋書きがある。筋書きは次の3点が基本要素として含まれる。
    - 5a. キャリアでは解決が迫られる問題が発生する
    - 5b. キャリアでは問題解決方策が活用される。
    - 5c. キャリアは主役の行動なしには展開しない。
  6. キャリアにはいかんともしがたい障壁/甚大な災難が伴う。
- C. これらの小説としての諸要素は、キャリア教育を通して、児童・生徒・若者たちが何を学ぶべきかを示している。
1. 自らの行動を自律的に自らの責任で行う必要性を学ぶ
  2. 時の流れの重要性を知る
  3. 指揮命令系統、性別・年齢・能力・関心等による職務分担などが職場ごとに異なることを理解する
  4. 円滑な人間関係の構築、自分にとって大切な/重要な人たちへの誠実な態度の体得等、人としてのスキル("people skills")を身につける
  5. 自らのキャリアの筋書きを立てる上で必要な次の能力を身につける
    - a. 将来起こりうる問題を事前に予測する力
    - b. 問題解決に必要な様々な資源・方策を探し、特定する力
    - c. 積極的に行動を起こし、その行動に責任を持ち、その行動に対する批評に耳を傾ける力
  6. 自分ではどうしようもない甚大な問題にいかに対処するかを学ぶ

## V. 本講演のまとめ